

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
三宅町	②学校と地域の課題	教職員の時間外勤務の是正	教職員の業務負担が増加しており、教職員の働き方改革のため、負担の縮減が課題となっている。	令和6年度は計65名の学校支援ボランティアを登録した。	<ul style="list-style-type: none"> 登下校の見守りや図書室整備・プール監視・家庭科授業補助などを地域住民が学校支援ボランティアとして協力する。 学校支援ボランティアの募集を行う。 学校支援ボランティアが安全に活動するため活動保険に加入する。 学校が積極的に学校支援ボランティアを活用するとともに、教育委員会が活用の補助を行う。 教員のニーズに応じたボランティアについて、地域学校協働活動推進員等が調整し、募集を行う。 	学校支援ボランティアを確保し、地域住民が登下校の見守りや授業補助などを協力することで、教職員の働き方改革に繋げるとともに、地域と子どもに関わりを深くする。	学校支援ボランティア年間延べ活動人数	1117	人	1120	1084	2 昨年度の人数を下回るボランティアの活動人数となった。そうした中でも登下校の見守りや、プール監視として、目標程度のボランティアが集まり、教職員の負担軽減に寄与したと考えられる。家庭科授業補助ボランティアについては、今年度は家庭科の専科教員を配置したこともあり、ボランティアの活動が必要となる場面が減少したと考えられる一方、ボランティア登録者も少なくなったため、教員が声をかけられなかった可能性もある。今後は、減少するボランティアを増やす方策の検討や学校のニーズに合ったボランティアの確保も行いたい。